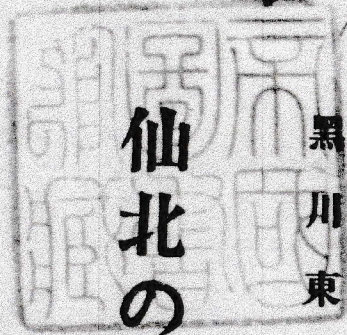


373-237



黒川東洲著

仙北の富源と田澤湖

勝名

仙北新報社發行

大正  
7.10.23  
内交

に落合附近小波内澤、長戸呂一圓の官有地、河床、河岸の沖積層の内には些細なる土塊の中にも米粒大の砂金を發見する事珍しくないと謂ふから如何に其量豊富なるか計り知れぬ、西明寺の有志梁田市五郎君は是所に鑑みる所あつて前年出願中の砂鑛區左の通り許可になつたから愈々着手するであらふ、第一鑛區、下檜木内川支流、小波内澤長二七町一〇間字長戸呂(湯尻川落合點約一里の河床岸國有林野中)第二鑛區、檜木内川下檜木内、西明寺小山田間(柄の木渡場より川上)一里九町一〇間川原田發電所の附近一帯の地、第三鑛區、第二區の川下嶺瀬川筋官有地一里二七町四五間。概して河岸五間宛の幅員を有し是等は殆んど試験を経たるもの也と、梁田氏の鑛區は大低一坪の土砂中に二匁以上の砂金含有するにせよ北海道の採取標準一坪八圓半の諸經費を支辨しても操業便利、水量豊富なれば坪收金純益率參圓以上に登るは當然時價貳拾萬圓内外の價値は勿論あるのみならず金粒割合に大塊をなしむる故意外の産額あるべしと某専門大家は鑑定を下したと云ふ。

三、理化學的工業の勃興と秋田林業株式會社の施設 近年に至つて北浦開發に大々の革新の機運を興へたものは秋田林業會社の施設であらふ、其經劃は膨大せる北浦の森林地を文明的に壓縮消化し交通網を新設改善して民力の振興充實を助成するにあると云つて憚らぬ、夫れが果して豫期の効果を擧ぐるやは斷言されぬけれども其來切りに新計畫を進めつゝある製鐵事業の如きは時代の要望が然らしたと云

ふより以上に其活動能力を實し度い、此計畫は寡からず郷土人を驚かし亦當局者一般實業家の視線を集めてゐる、何んとなれば彼等の目的は獨占を意味し財政上經濟上に覇を稱するにありと認めらるゝからである、是れ或は然らんと、けれ共彼等は左まで驚く事も惡意ある事でない、唯だ自家快心の事を遂行するに過ぎないであらふ、鈴木系統の統一主義も經濟上の必要から出づると云へ共實は關西人特有の經濟思想に適ふものあるからである、而して其成功の日は現在外來者の智力と資本に依頼しつゝあつた北浦人は多大なる利益に與る事明瞭であらねばならぬ。

北浦の小天地に同一事業の區區分立して相互競争烈しく相嫉視し地方自治体の運用に支障を來すを憂へ生保内田澤檜木内の有志は行政廳と連絡を取り夫々自衛發展策を講じ亦一方事業家側との交渉圓滿に保ち得らるゝ様夫々適當の機關を設けつゝありと謂ふから此點は將來憂すべきである、林業會社では社連日漸隆盛に進展し現工場の下方に開放的の俱樂部を近く建設して一般の親睦に供し傍ら山腹地方の温泉を引用して公衆温泉浴場をも經營しようとする考案中也と、其他古來毒瓦斯を噴出して玉川に毒水を流し仙北の發達を阻害してゐる澁黒澤の毒水排除にも深甚なる研究を積み久しく疑問裡に葬られた此毒源地を大規模の理化學的作用で一掃する適法を講じようとする努めあるから近く具體的の施設が見られるであらふ、若し幸に此毒水排除が出来れば玉川流域地に於て既田增收は二割以上に及び新規開墾事業は無慮三千町歩が何年の後に出來する

は事實である、然かも河川からは鮭鱈其他の魚漁俄然旺盛となつて住民の幸福如何に大なるか、地方廳も民衆も斯の如うな國家的生産事業の根本問題に對して今一層促進の機を速かならしむる爲の必要の方法を盡したら相互莫大の利益に浴し得るではないか、他日其目的を成就し得たらば彼の計劃は一場の夢也と見極つたものも後日必ずや吾人の評言が妄論でなかつた事を知る時が到來し科學の威力は全く不可知の結果を齎す事に致款するであらふ。

事業紹介 秋田林業株式會社 (後秋田林産製鐵株式會社と改)は生保内村先達川岸にあり大正五年末開業醋酸石灰の製出を主務、木精其他の副産物をも採取、事業第一期計劃は駒形山林三千五十町の原生雜木林處分を二十年契約で買収、諸般の施設をなす、此大面積中有望なる立木地は二千餘町で蓄材二十四萬坪(二坪十二石)に遊し醋石原料材年計五千二百八十坪、燃料材三千九百六十坪を要するが伐採面積は約十四町の豫定、而して此伐採跡地は針葉樹植栽目的で一世紀間の契約延長交渉中なるが未決、第二期計劃、將來有望なる雜木處分を勵行するにありと言へば益々刮目に値する工場は總建物約二千坪、乾留竈六連基四組、木醋蒸餾機は銅製十石入六基、ターブル脱酸機二基、木酒精分溜機銅製十七石入一臺木精々製機二基、醋石蒸發多管式盤十五石入二基、醋石乾燥竈六基を据付、原動力として百二十五馬力の汽鐘一基、點火用發電機(五基)一臺、分析所一室ありて現化學的試験を行ひ製品の統一を期す、運材用に數千

間の木樋を拵へ水力利用、尙ほ輕便軌道約三千間を敷設して運搬敏速、是等の設備には十數萬の巨資を投じて完成し運轉資金一切は鈴木商店經營の大坂林産物共同販賣所から任意供給する制度、是迄資本金の約四倍も流用し現時社運の盛況秃筆の能くする所でない、一年生産高醋石約十二萬貫木炭五十萬貫木酒精二十萬封度ターブル若干。製品は前記大阪の店に運ばれ各醋酸製造者に分配し、又海外市場に本邦化學工藝品の盛價を發揮して其信用、確實用途廣汎前途洋々、従業員汲々として活動し四百餘の職工雜夫を鞭撻して操業、勞働者は多く在郷軍人を採用し訓練に便す、事業成績好況、大正六年下半年期一割七分配當、七年上半期も善良の結果、愈々増資擴張を議決し隆々發展の現況なり。

四、田澤湖及玉川水力の利用と養魚 爾來田澤湖の水力を如何に有効に利用すべきか、久しい間の問題也、何分天下の名勝地故猥りに破壊的の暴者たる事業家に對し容易に企業を評さるべきものでない事は多言を要せない、周圍四里、底部は五百米突とも或は不可知の深度とも云はれ、一鈔間約五百立方呎の清水が湖底から絶えず湧出し、四季平均殆んど二尺位の満干差しかない、水量の豊富なる爲め從來此水量を電氣事業に、或は疎水を擴大して開墾事業に利用する等種々なる科學的劃策を試みたるもあつたけれ共顯勝の地故一時的の事業に此神秘的なる仙境を蹂躪さるゝ事を拒絶閉鎖したのである。然し湖の排水口たる渦尻川には平水八十渦四十立方呎の水勢ある



## 先達川

秋田県仙北市田沢湖生保内駒ヶ岳  
(この地点の標高: 海拔670m)

地図の中心から直線距離: 11.1 km

● 05/25日の入19:00 ● 05/26日の出04:09

🗺️ 地図印刷   📧 地図URL   🏠 付近の宿   📏 キョリ測  
🚊 電車・徒歩で行く   🚗 車で行く

🌟 保存する